

適正な田植作業の実践と、地力に応じた基肥施用、的確な水管理により、初期生育を確保しましょう。

## 1 育苗ハウスの温度管理

参照ページ:p39

- ・ハウス内の温度が25℃以上にならないよう換気を徹底するとともに、田植えの10日前頃からは昼夜ともにハウスのすそを開けて、外気にならしめよう。

## 2 田植作業

参照ページ:p40~41

コシヒカリの田植えは 5月15日 を中心に実施しましょう！

- ・田植前に植付爪の状態をチェックし、摩耗している場合は交換しましょう。
- ・強風など天気の悪い日の田植えは避けましょう。
- ・田植機の設定は表1の基準で調節しましょう。

表1 田植機の設定

項目	設定	設定上の留意点
栽植株数	70株/坪	作業速度や土壌条件により増減するため、試し植えをして、確認・再調整する ※株間の目安：16cm程度 → 2m間に12~13株
植付本数	3~4本	「掻き取り量・標準」では多くなりやすいため、「やや少なめ」とする
植付深さ	3cm (図1参照)	「標準」ではやや深めになるため、「やや浅め」とする

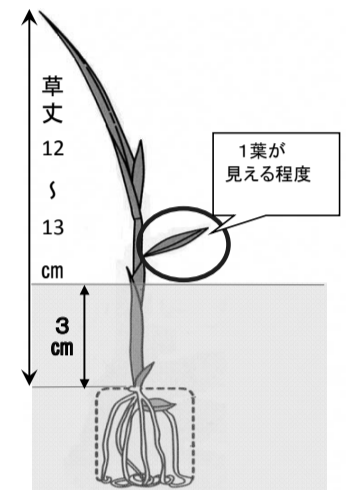


図1 適正な植付深さ

## 3 基肥施用

参照ページ:p41~42

- ・基肥量は土壌区分や圃場条件に応じて、適正量を施用しましょう(表2、3)。
- ・田植中は、肥料が落ちていることや、使用した袋数を確認し、予定の規定量を確実に施用しましょう。

◎規定量を確実に入れるポイント◎

- ・田植前に施肥ロール、ブラシを点検・清掃する(特に、施肥ロール部の詰まりはコンプレッサー等で除去)。
- ・肥料袋の裏に記載してある比重を確認し、ほ場のスリップ率や田植機の特性を把握して、目盛を調整する。

表2 コシヒカリの基肥施用の目安

土壌区分	基肥一発栽培				分施肥栽培	
	<標準タイプ>		<省カタイプ>		<側条施肥>	
	肥料名	施用量/10a	肥料名	施用量/10a	肥料名	施用量/10a
砂壤土 壤土	Jコートコシヒカリ1号	35kg	けい酸加里入り Jコートコシヒカリ1号	41kg	基肥206	32kg
壤土 黒ボク	Jコートコシヒカリ2号	30kg	けい酸加里入り Jコートコシヒカリ2号	35kg		25kg
粘質土 (山手地域)		27kg		32kg		23kg

土壌区分、肥料の種類により施用量が異なります。必ず確認しましょう。



⚠ R3年産からけい酸加里入りの基肥一発肥料は、「Jコート肥料」に切り替わりました。これまでのけい酸加里入りLPss肥料より窒素成分が高くなっていますので、施用量に注意してください。

### R3重点技術対策⑤

#### 「早生品種の倒伏防止対策の徹底 ~適正基肥量の厳守~」

参照ページ:p8~9

- ・「てんたかく」は、過剰籾数による「登熟歩合の低下」と「倒伏」を防ぐため、基肥量が過剰にならないように注意しましょう(表3)。

表3 てんたかくの基肥施用の目安

土壌区分	基肥一発栽培		分施肥栽培			
	<標準タイプ>		<側条施肥>			
	肥料名	施用量/10a	肥料名 <sup>※1</sup>	施用量/10a	肥料名 <sup>※2</sup>	施用量/10a
砂壤土 壤土	LPs早生専用	40kg	基肥206	40kg	基肥555	35kg
壤土 黒ボク		35kg		35kg		30kg
粘質土 (山手地域)		30kg		30kg		25kg

注) ※1または※2のいずれか1種類

## 4 田植後の水管理

参照ページ:p42

- ・田植後は速やかに入水し、上から2枚目の葉が隠れる程度の「やや深水管理」を行いましょ。
- ・活着後は水深2~3cmの「浅水管理」で田水温を高め、分けつの発生を促進しましょ（以上図2）。
- ・入水は早朝または夕方以降に短時間に行い、日中は止水にしましょ。
- ・強風時や低温時は、やや深水管理で苗を保護しましょ。
- ・中干し開始までは浅水管理を続けますが、湛水状態が続くと根腐れが発生する場合がありますため、必要に応じて晴天日に軽い田干しを行いましょ。

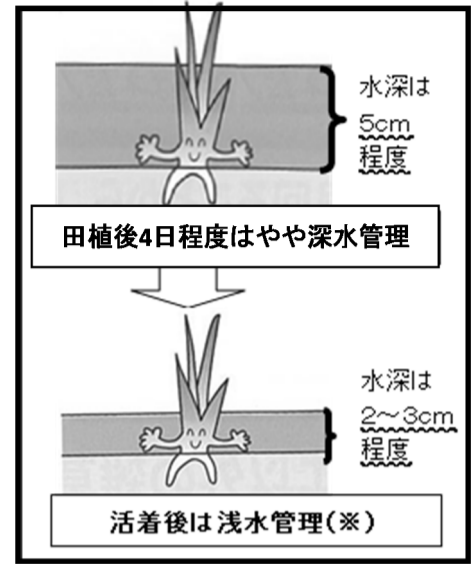


図2 田植後の水管理のイメージ

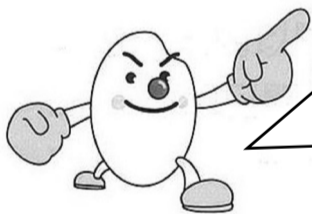
## 5 除草剤の散布

参照ページ:p43

- ・代かきから田植えまでの日数は7日以内になるよう作業計画を立てましょ。
- ・雑草の発生状況に応じて、使用する剤や体系を決めましょ（図3参照）。
- ・散布の際は、水口、水尻をしっかりと止め、田面が露出しないよう水深5cm程度を保ち散布しましょ。
- ・散布後7日間は止め水管理とし、水田外への流亡を防ぎましょ。

### <田植同時除草剤使用上の注意点>

- ・植穴の戻りや、水持ちの悪い圃場では使用を控える。
- ・軟弱徒長苗の使用や、極端な浅植え・深植えは避ける。
- ・移植終了後、速やかに入水する。
- ・薬害や除草剤処理層の破壊を防止するため、補植作業は行わない。



除草効果を十分に発揮させるため、処理時期や水管理を適切に行いましょ！

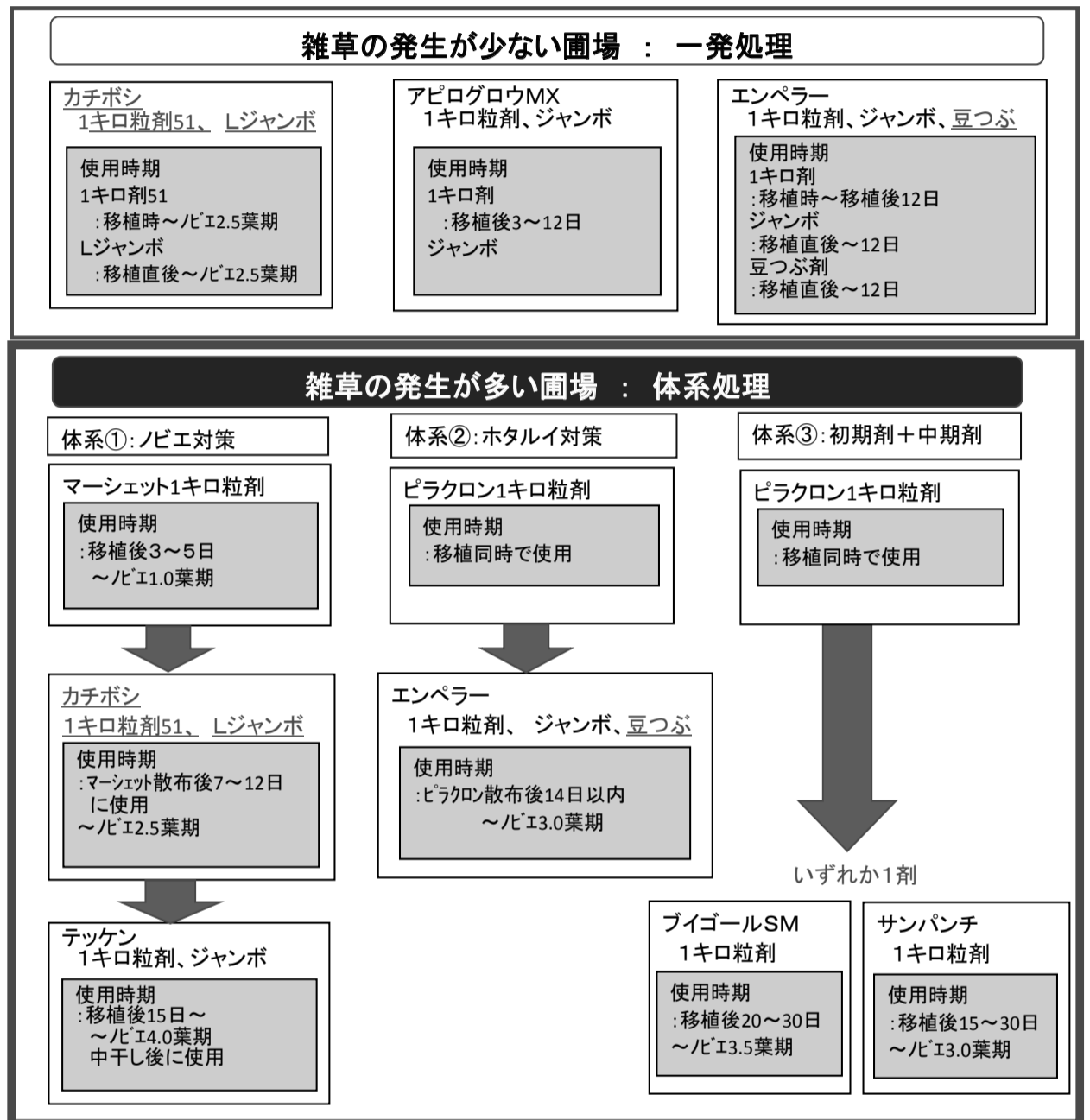
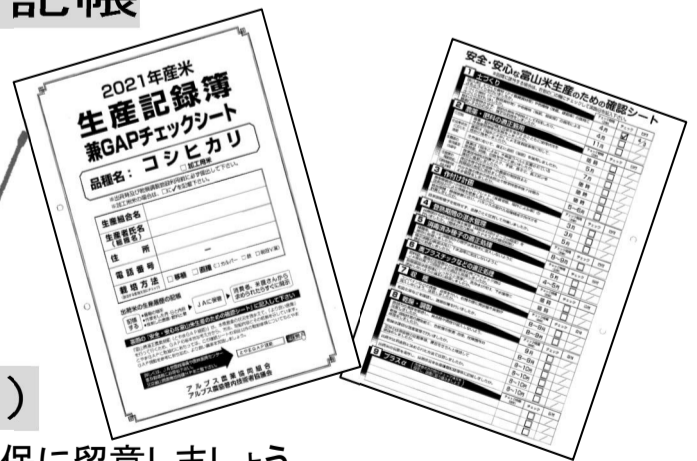


図3 移植雑草防除体系例 ※下線付きの薬剤は令和3年度新規採用薬剤

## 生産記録簿兼GAPチェックシートの記帳

作業を実施する毎に、記録簿を記入しましょ。

種子や苗の購入先、育苗方法など、もれなく記入してください。  
適宜確認シートで作業内容をチェックしましょ！



## 春の農作業安全運動実施中(4/1~5/31)

春の農繁期は農作業事故が発生しやすい季節です。農業者の安全確保に留意しましょ。

## お知らせ

### 〇消毒済み種籾の無料廃棄処分について

4月26日(月)~5月31日(月)まで、廃棄ボックスを設置します。必ずネット袋に入れた状態で持ち込みをお願いします。

◎設置場所: 立山(立山管理センター)、上市(宮川2号倉庫)、滑川(滑川宮農経済センター)